

インド（デリー・ムンバイ）において自治体等職員に対する研修を実施

シンガポール事務所

2025年（令和7年）9月3日（水）から9月13日（土）（国内研修3日間含む）にかけて、インド（デリー・ムンバイ）において、「自治体の海外戦略～活力あるアジアとの地域間交流促進～」と題して、全国市町村国際文化研修所（JIAM）との共催により、視察研修を実施しました。

研修には10名の自治体等職員の参加があり、デリーでは現地機関のインド工科大学やオールインド、民間の人材送り出し機関、日系機関の在インド日本国大使館やJETRO ニューデリー事務所、JNTO デリー事務所などを訪問しました。

ムンバイでは現地機関のムンバイ市行政庁舎や和歌山県ムンバイ事務所、日系機関のJETRO ムンバイ事務所などを訪問しました。

各訪問地では、訪日観光や企業進出における両国の違いなどを比較したほか、現地の方々との意見交換を行程に組み込むことで「交流」の意義を実感できる研修となりました。限られた時間ではあったものの、延べ17にのぼる視察先を訪問しました。

1 JNTO デリー事務所（デリー）

JNTO デリー事務所では、JNTO の事業内容やインドの観光事情などについて説明を受けました。インドの海外旅行客の旅行先の傾向や食の嗜好に加え、高い多様性を持つインドでどのように訪日客の獲得を行うのか、日本のどのような点に魅力を感じているのかなど話を聞くことができました。

研修生からも、自らの業務に関連する質問を中心に多くの発言があるなど、行政としてインバウンド誘客に高い関心があることが伺えました。



視察終了後に講師との記念撮影

2 H&A India Pvt Ltd での学生との交流（デリー）

H&A India Pvt Ltd は、インドに拠点を置くインド人技能実習生送り出し機関です。

インドにおける人材送り出しの現状や課題について説明を受けるとともに、本研修の目的でもある「交流」として、当日本語学校に在籍する学生との意見交換を実施しました。

学生は、6 ヶ月から1年間程度の間、研修施設で生活し、日本語を学習するとともに、日本の文化を学んでいます。学生との交流では、研修生は日本とインドの文化・生活の違い、日本への印象などを積極的に尋ねていました。



技能実習生として来日する学生に
日本への関心事項を質問する研修生

3 JETRO ムンバイ事務所（ムンバイ）

JETRO ムンバイ事務所では、JETRO の事業内容やインドの経済の中心地であるムンバイの経済状況などについて説明を受けました。

研修生からは、JETRO ムンバイ事務所にムンバイへの進出を考えている企業から寄せられる質問内容やインド特有の企業風土への対応方法などについて積極的に質問し、活発な意見交換が行われました。



ムンバイにおける日本企業の活動について
説明を受ける研修生

4 ムンバイ市行政庁舎（ムンバイ）

ムンバイ市の中心地に位置しているムンバイ市行政庁舎を訪問しました。

副管理官から、ムンバイ市の概要や都市構造、現在行っている様々な施策に加え、マハラシュトラ州が直面している深刻な冠水対策や都市部における渋滞などの行政課題について、直接説明を受けました。

また、実際に住民から問い合わせを受ける「災害対策室」の現場を見学しました。

研修生からは、施策における AI の活用事例や観光誘客の取組みについて質問するなど、幹部職員との貴重な意見交換を行うことができました。



行政課題について説明を受ける研修生

この度の研修は、官民間わす幅広い分野において、インドでの自治体や民間企業の取組や、日本とインドの違いについて知見を深める機会となりました。

（木村所長補佐 山口県派遣）
（安本所長補佐 愛知県派遣）